

# 進路だより

令和4年 4月27日  
都立中野特別支援学校  
第1号  
校長 和田 慎也  
担当 小田原 紀子

## 【専任】

昨年度に引き続き、今年度も進路指導専任を担当することになりました。よろしくお願いいたします。

### ◆学校卒業までに行えること

新年度が始まると、「入学おめでとう」「進級おめでとう」を目にしたり耳にしたりします。保護者の方に「進級おめでとうございます。」と伝えましたら、複雑な気持ちを口にされました。

「子どもの成長は嬉しいが、学校卒業までのカウントダウンが聞こえてくるような気がする。」

学校というある意味では守られた場所から、社会に出ることへの不安を口にされました。

先日、小学部6年生の保護者会に招かれました。「学校卒業後の選択肢を広げるために」をテーマに、高等部進路担当の立場からお話をさせていただきました。社会に出ることへの不安は解消されることはないでしょう。でも、不安を小さくすることはできるかもしれません。

「地域の応援団を作ること」

地域の中で、彼らのことを知っている人を一人でも増やすこと。学校時代に作った応援団は、社会に出た後の彼らを、きっとサポートしてくれるはずです。

(田邊 大樹)

## 【専任】

今年度、進路指導専任を担当することになりました中嶋祐治です。どうぞよろしくお願いいたします。まだまだ新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの教育活動になりますが、児童・生徒一人一人の将来の自立と社会参加に向け、皆様の進路指導やキャリア教育のサポートをしていきたいと思っております。保護者の皆様にも御協力いただくことがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

### ◆進路指導とは…

高等部になると、卒業に向けて「自分に適した進路先を自分で決めていく」ことを目標に、1年生は「進路先を知る」学習。2年生では、「進路先を考える」学習。3年生では、「進路先を決める」と具体的に進んでいきますが、その一番の源になっていること（キャリア教育）は、「自分自身でできることを増やす」です。自分でできることが多い人は、進路選択の幅もその分多くなりますし、児童・生徒一人一人の実態に応じた自立と社会参加に不可欠なことです。「できることを増やす」ことは、いつ始めても早すぎることは、絶対にありません。日常生活の何から始めても大丈夫ですが、どんなささいなことでも、保護者の皆様には、ぐっと我慢していただき、本人が最後まで（時間はかかりますが）できるまで、手を出さずに見守っていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

(中嶋 祐治)

## 【令和3年度進路状況】

### <進路状況>

企業	就労移行	継続A型	継続B型	生活介護	自立訓練	その他	合計
8	3	0	16	10	6	4	47

### <企業就労者の内訳>

事務	製造	物流	小売	飲食	サービス
1	1	1	2	2	1

## 【本年度の進路部体制】

進路指導専任： 田邊 大樹

中嶋 祐治

高等部3年生： 和泉 悠太、森井 綾香

高等部2年生： 宗形 秀人、岸 真美

高等部1年生： 本橋 剛、江川 拓郎

中学部： 伊達 恵子、石田 直暉

小学部： 小田原 紀子

## 【第1回保護者向け進路研修会】

6月9日（木） 渋谷区

6月16日（木） 中野区

6月22日（水） 新宿区

6月29日（水） 杉並区

### 【小学部】

御入学、御進級おめでとうございます。

今年度も小学部の進路を担当させていただくことになりました。小学部は5、6年生が就業体験を行います。昨年度は新型コロナウイルス感染対策の関係で残念ながら体験することができませんでした。しかし、進路専任の出前授業や生活単元学習の中で、「働くこと」や「働くために大切なこと」について学習することができました。

まだまだ小学部の段階では、進路は先のことに感じるかもしれませんが、社会に出たときに必要な3つのポイント「挨拶」「身だしなみ」「報告」は小学部のときからしっかり身に付けていきたいことです。毎日の積み重ねを大切に、今年度も小学部の子供たちにわかりやすい進路学習となるよう、努めて参ります。一年間、よろしく願いいたします。

(小田原 紀子)

### 【中学部】

御入学、御進級おめでとうございます。

中学部では「職業」の時間に「働くことについて学習」をしています。1年生では「働く人を見る」をテーマに、学校で働く方々の姿から仕事について学びます。2年生では1年次の学習を踏まえて校内を清掃したり、地域で公園清掃を行ったりします。3年生では校内の事務作業を請け負う仕事をしたり、校外の施設で清掃を行ったりします。

また、「就業体験」では、福祉施設での見学や体験などを行います。3年間で徐々にステップを上げながら、働くために必要なことは何かを学習していきます。

社会に出るのはもう少し先のことですが、そのために今から身に付けた方がよい力はたくさんあります。保護者の皆様に御協力をいただきながら進路の授業を充実させてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(伊達 恵子)

### 【高等部1年】

御入学おめでとうございます。期待と不安で胸がソワソワする高校生活がスタートし、新しい仲間や先生にも少しずつ慣れ、授業も始まりました。

高等部1年生は、教科「職業」で「自分の進路や職業生活」について学習します。1学期は、自分や友達を知ること。2学期以降には、職場見学を通して職場や働く人を知り、自分の将来について考えていきます。自分の得意不得意を知り、仕事について具体的に知ることによって自分の将来のイメージを少しずつもてるようになって欲しいと思います。御家庭でも将来について少しずつ話題にあげるようお願いいたします。

高等部1年生の進路学習の大きなテーマは「知る」です。自分や友達を知る、高等部の生活を知る、いろいろな仕事を知るという意味です。「知る」ことが自分で進路を選ぶ第一歩となります。生徒自身が自分らしい卒業後の生活を選択できるよう支援していきます。3年間、どうかよろしくお願いいたします。

(本橋 剛、江川 拓郎)

### 【高等部2年】

御進級、おめでとうございます。社会に出ることは、「人の役に立つこと」でもあります。ピカピカに磨かれた廊下は気持ちの良いものですし、気持ちを込めて提供された料理は思わず笑顔になります。

このことは、福祉的な就労においても同様で、丁寧に袋詰めされた雑誌の付録は、手にした子供たちの好奇心をかきたてますし、心をこめて織り上げられたコースターは、目にした大人の心を温かくしてくれます。

高等部2年生は、自分の可能性を追求しながら「自分の適性」を考える時期です。2回の体験実習の機会を通して、自分の良さに気付くと共に、課題にきちんと向き合っていくことで、どのようなあり方で「人の役に立てる」のかが、見えてくると思います。

そのために、保護者の皆様には、様々な場面で御協力をお願いすることも増えてきますが、よりよい進路の実現に向け、御協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

(岸 真美、宗形 秀人)

### 【高等部3年】

一昨年、昨年に引き続きまして進路指導を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。高等部では学年ごとにテーマを設定し、段階的、継続的な進路指導を行っています。1年生は「知る」、2年生は「考える」、3年生は「決める」です。この2年間、授業や現場実習等を通して、生徒たちは進路について「知り」「考え」てきました。今年度ははいよいよ「決める」ために挑戦する1年になります。

人が何かに挑戦する限り必ず失敗はあります。そこで大事なことは、失敗しないことではなく、上手に失敗し、そこから力強く立ち上がる力=レジリエンスです。弾力性や回復力とも言われるこのレジリエンスを高めるポイントは、①新しいことを楽しむ力②自己表現力③コミュニケーション力④気持ちのサポーターの存在の4つです。現場実習という新しい環境で、自分の気持ちを相手に伝えるためのコミュニケーション力を高めるために、一番身近で心強いサポーターとしてお子様を支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(和泉 悠太、森井 綾香)